

弁護士が教えるビジネス法務 事例から学ぶコンプライアンス

佐藤 亮 他
早稲田リーガルcommons法律事務所 弁護士

コード	NFH01	定員	30名	単位	1	曜日	土	時間	13:00~16:10 (13:00~14:30、14:40~16:10)
受講料	会員	¥	日程	下記表参照					
	ビジター	¥0							

▶**目標** 会社・団体に勤める社会人を対象に、社会で起きたコンプライアンス違反事例を題材に、その違反が企業や従業員に与える影響を考察します。日々の業務の中でコンプライアンスを意識し、コンプライアンス違反を未然に防ぐにはどうすればいいかを理解することを目標とします。

▶**講義概要** 昨今、「組織のコンプライアンス」という言葉を至るところで耳にするようになりました。コンプライアンス違反をした組織は、

それまで培ってきた社会的評価が大きく毀損され、過去には考えられなかったような重大な損害を被るようになりました。本講座は、全4回(2日間)にわたり、様々な分野における過去のコンプライアンス違反事例の検討を通じて、日々の業務に潜むコンプライアンス違反のリスクを講義いたします。

ご受講に際して

◆この講座は1日2コマ、全2日で行われます。

第1回	2/13	事例から学ぶ個人情報保護とコンプライアンス	第2回	2/13	事例から学ぶ危機管理
		齊藤 裕也 早稲田リーガルcommons法律事務所 弁護士			横倉 仁 早稲田リーガルcommons法律事務所 弁護士
<p>個人情報保護法が施行されて約10年、まだまだ個人情報の漏えい事故・事件が後を絶ちません。本講座では、実際の現場で採用されている安全管理体制や実際に起きてしまった漏えい事故等を検証しながら、マイナンバー制度導入への対応も踏まえて、個人情報の適切な取り扱いについて考えてみたいと思います。</p>			<p>企業の不祥事が発覚した場合、その企業はどのように対応するべきでしょうか。第三者委員会の設置、事実関係の解明、責任の明確化と追及、再発防止策の構築、監督官庁、捜査機関やマスコミへの対応、決算の遡及修正など、迅速かつ同時並行的に対処すべき問題が噴出します。事例を交えて解説したいと思います。</p>		
第3回	2/20	事例から学ぶハラスメントとそのリスク	第4回	2/20	事例から学ぶ労働管理上のコンプライアンス
		佐藤 亮 早稲田リーガルcommons法律事務所 弁護士			原島 有史 早稲田リーガルcommons法律事務所 弁護士
<p>コンプライアンスが声高に叫ばれている昨今、ハラスメントが生じうる環境を放置し、生じた際の対応を誤ると、企業は取り返しのつかない損害を被ってしまいます。本講座では、セクハラ・パワハラを中心としたハラスメントについて、過去の事案をもとに、その判断枠組み、加害者への処分、レピュテーションリスクなどのコンプライアンス上の影響をご説明します。</p>			<p>裁量労働制の導入や解雇などの労働管理上の意思決定において、ボーダーとなるラインがどこにあるのかを押さえておくことは重要です。このようなボーダーラインを、実際に裁判になった事例をもとに検討します。また、損害賠償として認容される金額についても、実際の事例をもとにご説明いたします。</p>		